

部 報 第 1 2 3 号

平成20年3月23日
(財)全国高体連卓球専門部

【平成19年度(財)全国高体連卓球専門部第2回理事会議事録】

日 時：平成20年3月23日(日) 14:00～
会 場：暁星中学・高等学校会議室

1 あいさつ

(財)全国高等学校体育連盟卓球専門部長 後藤 泰之
東京都高等学校体育連盟卓球専門部長 大橋 勝義
(財)全国高等学校体育連盟卓球専門部顧問 吉崎 久治

2 協議事項

第1号議案

次年度事業計画案承認の件

- ア 平成20年度第77回全国高等学校総合体育大会(埼玉大会) 宮本委員長
・8月6日(水)男女シングルス2～5回戦を男女各14台で実施するタイムテーブルは、番号の遅い者ほど試合が連続してしまい不利になるので男女交互のタイムテーブルに変更したい。
・5位表彰については試合を中断せず、放送を使用しないで行き、1～3位の表彰と分ける。
・春日部市には宿泊施設が少ないため、千葉・東京の施設を使用する配宿計画にご理解いただきたい。競技会場まで移動に約45～70分かかってしまう。練習時間を考えて朝食は6:00から取れるようにしたい。
・埼玉大会全国高体連専門部役員案(若尾理事長)

承認

- イ 平成20年度第36回全国高等学校選抜卓球大会(愛媛大会) 戸田委員長
・平成21年3月26日～28日の3日間大会で、開会式の後、学校対抗予選リーグ第1試合を行う。運営・進行などを石川大会を参考にさせていただいた。
・学校対抗16台、シングルス8台計24台をメインアリーナにおいて行う。
・練習会場は武道館では確保できないので、近くの小学校、中学校をお願いした。

承認

- ウ その他 丸田副理事長

- 強化合宿、海外遠征、講習会等
 - 4/11(金)～13(日)……高校・大学合同練習会(ナショナルトレーニングセンター)
 - 7月……海外遠征事業
 - 8/22(金)～29(金)……日・韓・中高校生交流(日本・千葉市)、選手男女5名
 - 11/4(火)～9(日)……日・韓ジュニア交流(愛知・碧南市)、選手男女7名
 - 11/20(木)～25(火)……日・韓ジュニア交流(韓国)、選手男女7名
 - 1/4(日)～7(水)……冬季強化合宿(島根・松江市)、選手男女40名
 - 1/5(月)～6(火)……指導者講習会(島根・松江市)
 - 3/28(土)～31(火)……春季合宿(香川・坂出市)、選手男女24名
- 今年実施した日中友好合宿・指導者研修会(中国)は予算面で来年度は実施できない。
海外遠征事業は、ベトナム・ゴールデンラケット大会(7/16～21)で現在調整中。

承認

第2号議案

- 平成20年度収支予算案承認の件 関川会計理事
- 補助金収入は日本卓球協会から200円×登録人数+50万円、全国高体連から25万円
 - 分担金収入は各都道府県から総体学校対抗出場校1チームにつき15,000円×110
 - 全国選抜大会開催地の経済的な負担軽減のため、補助金増額の提案があり、今後地

元の負担にならないように改善していく方向で検討していく。

承認

第3号議案

委員会・事務局提案承認の件

ア 平成21年度全国高校総体(兵庫大会)参加定数 坂部事務局長

イ 選抜大会の定数改正について 別紙参照 小坂副理事長

総体ブロック予選までに各ブロックで検討し、プログラム編成会議にて評議員会提出案を決める。

ウ 技術委員会 丸田副理事長

「第1号議案 ウ」で済み 承認

エ 年報編集委員会 初田副理事長

承認

第4号議案

人事案件承認の件 若尾理事長

・平成20～21年度新役員については、埼玉総体理事会・評議員会において規約により改選をする。

ブロック理事・評議員に異動・変更があればお知らせください。(今後事務局で調査)

3 報告事項

(財)全国高等学校体育連盟評議員会 若尾理事長

・プロ扱い競技者の全国高体連主催大会へ参加する場合は参加申請書を提出し、許可を受けなければならなくなった。(財)全国高体連「競技者に関する別途規定」(H20.3.3制定)による。プロ扱い競技者とは、企業等と契約を交わし、競技に関係して金品の授受がある者をいう。(競技者に関する別途規定1による)

(財)日本卓球協会理事会・評議員会 若尾理事長

その他(正副理事長事務局会議2/15,16) 若尾理事長

4 連絡事項

開催地実行委員会(平成19年度全国選抜東京大会) 井原委員長

事務局 坂部事務局長

全国高校選抜大会通過数改正案

2008.3.23

全国高校選抜大会通過数検討委員会

< 審議経過について >

全国選抜大会定数改正について、平成19年8月9日(佐賀総体)の評議員会において、理事会提案に対し再審議となりました。それを受け、検討委員会を発足させ、評議員へのアンケートを実施、さらに2回の会議を開き、指摘していただいた提案の問題点の修正、様々なご意見をもとに新たに案を作成いたしました。これを平成20年3月23日(東京選抜)の理事会において提案し、基本的な部分で承認を得ました。

今後については別紙について細部を各ブロックにおいて検討していただき、平成20年度埼玉総体の評議員会にて最終決定できるようご協力をよろしく申し上げます。

【学校対抗の部】

1. 全体通過数 56

(1) ブロック通過数 50

・基本配分 25 ・加盟校比例配分 12.5 ・登録人数比例配分 12.5

基本配分 25 における基本係数は、各ブロック内における都道府県の割合を表す。

*ただし、北海道ブロックは特例として2県有するものとして計算する。

(2) 推薦枠 2

前年度選抜大会優勝校と準優勝校を推薦出場とする。

該当校が出場しない場合には、所属ブロックにその通過枠を与える。

(3) 希望枠 3

全国9ブロックを3つのグループに分け、それぞれのグループに通過枠1を与える。

Aグループ 北海道・東北・関東

Bグループ 北信越・東海・近畿

Cグループ 中国・四国・九州

各グループ内でローテーションを設定し、3年に1回は全てのブロックに通過枠1が加配される。

(4) 開催地枠 1

大会開催地の都道府県に通過枠1を配分する。

2. 試合方式

(1) 予選リーグ(3~4チーム)×16ブロック

第1~8シード相当のブロックは3チームのリーグ戦とする。

上記以外のブロックは4チームのリーグ戦とする。

(2) 決勝トーナメント

予選リーグで1番良い成績を収めたチームが決勝トーナメントに進出する。

【2部シングルの部】

1. 通過数 48 (男女)

各都道府県通過枠を1とする。

大会開催地の都道府県に通過枠1を配分する。

2. 試合方式

(1) 予選リーグ(3チーム)×16ブロック

各ブロックは3チームのリーグ戦とする。

(2) 決勝トーナメント

予選リーグで1番良い成績を収めたチームが決勝トーナメントに進出する。